

編集後記

この号がお手元に届くのは9月末ですが、この編集後記は8月19日に執筆しています。皆様、夏はどのようにお過ごしになられたでしょうか。今年度から自分の勤務先の核融合研では8月13-15日が一斉休業期間となり16日に年休を取ると9連休、南海トラフ地震臨時情報に身構えつつ過ごした長い休み明けの最初のお仕事が編集後記の執筆になりました。

さて、編集委員の主なお仕事は企画(解説・小特集・講座)の立案と管理なのですが、他にも議事録執筆、最終校正、校閲などがあります。自分は企画立案と管理はまだなのですが、これまでに経験したお仕事で一番神経を使ったのが校閲での参考文献情報の確認でした。雑誌略称や著者名などは結構記載ミスがあったり、原著論文や文献を直接著者が確認していないのではと疑われる記載もちらほら…。自分の執筆した論文を雑誌に掲載していただく際も誰かがこのような作業をしてくださるから雑誌の信用が保たれているのだと思い、調べられる限りは真面目に取り組みましたが、参考文献が多いと正直グエーと

思ったものでした。

自由業の夫と話していると、学術業界以外にもさまざまな業界でボランティア的な組織や活動でもって業界の質を保とうと努力されているのだと感じます。ですが夫の業界ではその手の活動の夕方以降の設定が多いことよ。お金を稼ぐための業務に差し障りがないようにとのことでしょうか、家庭生活や連れ合いの仕事の取り回しのどこかで「あんこがはみ出る」ことになります。(プラ核学会誌編集委員会は日中に行われるので助かっています!!)片働きプラス専業主婦家庭が多数派だった時代には見過ごされていたことも我が家も含めた共働きあるいはシングル家庭では問題になると認識するに至ったのですが、社会全体で折り合いがつくまでにはまだ時間がかかるのでしょうか。“It gets better”と言う言葉がありますが、先人が繋いでくれたものに感謝しつつも今を生きる自分達自身が苦しくないように、また多数派にならないと問題があっても可視化されにくく共感も得られにくいと言う事実を頭に置きつつ、少しずつでも良い方向に進みたいものです。(伊神弘恵)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	安藤 晃		
副 会 長	坂本瑞樹(推薦委員長: 研究助成)	花田磨砂也(男女共同参画委員長)	
常務理事	市口勝治(総務委員長)		
理 事	渥美寿雄 居田克巳 稲垣 滋 井 通暁(推薦委員長: 学会賞)		
	大原 渡 兄玉了祐(広報委員長)	古閑一憲(支部・地区研究連絡会委員長)	
	坂本克也 白藤 立 仙波智行(財務委員長)	高橋幸司	
	田中康規(企画委員長)	鳥養祐二(研究部会連絡委員長)	村上 泉(編集委員長)
	藤田隆明(年会運営委員長, 企業展示検討委員長)	林 伸彦	
監 事	前田達志 立松芳典		

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡(山口大) 応 用 白藤 立(大阪公立大) 核融合プラズマ 林 伸彦(量研) 核融合炉工学 渥美寿雄(近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 村上 泉(核融合研) 副委員長: 鳥養祐二(茨城大)
エディタ: 前原常弘(愛媛大), 稲垣 滋(京大), 重森啓介(阪大), 高橋裕己(核融合研), 石澤明宏(京大), 大矢恭久(静岡大)
編集委員: 伊神弘恵(核融合研), 池田善久(愛媛大), 伊藤 悟(東北大), 宇藤裕康(量研) 岡本征晃(石川高専), 小田靖久(摂南大), 恩地拓己(九大), 河内裕一(名大), 川面洋平(宇都宮大), 小島完興(量研), 小林達哉(核融合研), 佐野孝好(阪大), 篠原正典(福岡大), 白戸高志(名大), 曾根宏隆(豊田自動織機), 高橋一匡(長岡技科大), 富田健太郎(北大), 中野治久(核融合研), 中村友祐(名大), 成田絵美(京大), 難波愼一(広島大), 針谷 達(岐阜大), 皇甫度均(筑波大), 古川武留(神戸大), 松岡清吉(量研), 本島 巖(核融合研), 山崎広太郎(広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第100巻第9号

編集・発行 印刷 株式会社荒川印刷
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 2024年(令和6年)9月25日
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。